

総連会長⇒地区連会長⇒支部長⇒会員各位

令和4年2月26日
白鳩会大阪教区連合会
会長 房本喜久美

白鳩会便り No.68

合掌、ありがとうございます。

今週末から暖くなるそうです。三寒四温で、春を迎える準備が進んでいきますね。

皆様には、お変わりなくお過ごしでしょうか？

コロナウィルスが毒性を下げていると喜んでおりましたら、ロシアによるウクライナ侵攻が始まりました。大きな争いに発展しませんようにと思います。

私たちは、谷口雅春大聖師から、戦争は、迷いと迷いが打ち合って、自壊する姿であるとお教えいただいています。大きな被害が出る前に迷いが消えていきますように祈らせていただきましょう。

毎晩9時から「世界の安寧を祈る神想観」をLINEの「神想観しろはとLINEグループ」で開催しています。LINEをされている方で、ご参加くださいます方は、地区連会長、総連会長にお申し出ください。ご招待させていただきます。スマホを使われない方は、時間を合わせて祈って頂けるとありがたいです。一日も早く世界が穏やかにおさまり、人々が安心して暮らせる素晴らしい世界が現れますことを祈らせて頂きましょう。

そして、2月22日 白鳩会連合会長会議がオンラインで開催されました。その中で、生長の家白鳩会総裁・谷口純子先生よりご指導を頂きました。先生が、たまたま、NHKのEテレをご覧になった時に、「こころの時代」という番組で、仙台の小野和子さん（88歳）のお話をご覧になったそうです。その方は、民話研究者で、『聞きたくて会いたくて旅に出る』というご本を出版されています。民話の語り手を訪ねて行って、その地方の民話を記録する、後世に残すという活動を楽しんでいます。その方のお話をして下さって「このように、私たちも、楽しくて、生きがいがあって、伝えたくて、知ってもらいたくて、幸せになってもらいたくて生長の家を伝えます。という思いで、私たちの心の奥深くにある思いを形に現わしていく運動を進めて下さい。」とのご指導をしてくださいました。

私たちは、神の子ですから皆さんに真理を知って頂いて、お幸せになってもらいたいという思いが必ずあるはずで、それを心の奥深くに眠らせてしまわないで形にあらわす運動を、喜びをもって生きがいをもって展開して参りましょうということだと理解して参りました。どうぞ、谷口純子先生のお心にお応えして、コロナ下であっても、ネットフォーラム（研修版）で、また、普及誌を送ることによって、また、ポスト愛行によって、多くの方に生長の家の御教えとライフスタイルをお伝えして参りましょう。皆様のご健康とお幸せをお祈りいたします。再拝